

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和5年度) 2023年度

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	3	22	土曜	13:00	14:00	ほっこり村	7名
活動名称	ほっこり村 ベンチ寄贈						報告: 小澤 邦

<活動目的>

- ・森の産物である間伐材を利用しベンチ等を作ることにより、資源の再利用を実感してもらう。
- ・重度障害児医療センターの子ども達が野外で太陽の光を浴び自然に接する場所として、庭に出したいものの、寝たきりで寝かしたまま、野外に出せないかという要望がありました。
- ・だっこして庭に出れる子ども、寝たきりの子どもなど障害のレベルに応じて、自然に接する場所を丸太ベンチとベッド型ベンチを製作し、寄贈する。

<主な活動内容>

- ・1000X1000の福祉ベンチを組み立て、塗装仕上げを、2台寄贈した。
- ・又、車いすなどの移動のため、シート代わりに、畳表を合わせて提供した。

<評価・課題>

- ・今回の取組は、市民の森の伐採木の有効利用を目的に取り組んだが、伐採から製材までに、大変時間を必要とした。
- ・ベンチは福祉課の要請であったが、製作時間がかかりすぎて、他の活動に支障が出そう。
- ・このため、伐採木の運搬、製材などの時間をうまく短縮しない限り、伐採木の有効活用は困難と考えられる。
- ・年間の使用木材を想定し、まとめて運搬、製材をして、乾燥させておくことが必要と考えられる。
- ・又、伐採木の重量運搬に苦勞するため。できる限り、伐採現場で必要な長さや、厚さに製材してしまうことが大切かと考えられる。
- ・以前、購入した移動式の製材機があるので、これを活用する方法を考える必要がある。
- ・ストックされた木材を利用して、各種製品を製作する段取りが必要と考えられる。

<里山参加者>

(前列) 牛島、石川、柳川、小沼、小澤ク

<活動写真>

